

秋は宿根草の株分を。

庭植えの宿根草を育てている皆さんは、バラや庭木の冬囲いをする前に、大きくなり過ぎた宿根草の株があったら株分をしましょう。朝晩の霜が降りる前がベストです。場所を移動するのも秋は良いと思います。全草掘り上げることが難しいものは掘らずに剣先スコップなどできりわけて、小さくした株周りには堆肥や腐葉土などを漉き込んでください。冬に向かう今は肥料はいりません。植物の中には酸性土壌が好き（ブルーベリー、しゃくなげ、ツツジ、菊、リンドウ、アガパンサスなど）植物と、アルカリ性の土壌が好き（マメ科の植物など、品種によって、好む土壌が違います。なんだか育ちにくい植物があったら、好む pH を調べて酸度を調整したり、違う場所に植え替えてみるのも良いと思います。（きのした）

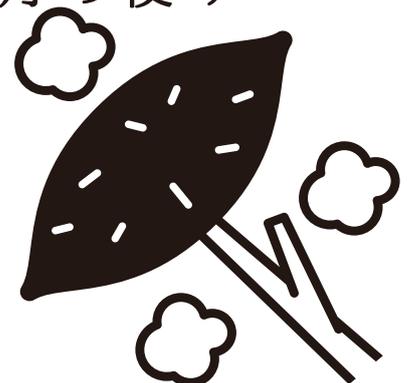
フジバカマ

フジバカマは本州の関東以西、四国九州に自生する宿根草で古く万葉の昔から親しまれてきた秋の七草の一つです。ちいさな薄いピンクの花を、長さ 10cm 前後の房状に多数咲かせ、川沿いの湿った草原やまばらな林床に見られます。葉はまっすぐに伸びる茎に、3 裂する葉が対になってつきます。現在の日本には自生に適した環境が少なくなったため激減し絶滅危惧種となっています。北海道では同じ仲間のヨツバヒヨドリやサウヒヨドリが自生しています。現在、国内で流通する多くのフジバカマはフジバカマとサウヒヨドリの雑種である「サウフジバカマ」であるといわれていて、いろいろな斑入りの品種や菊葉、細葉といった葉の変化を楽しむものが多く出回っています。また北米原産の洋種フジバカマ、学名「ユーパトリウム」は白、ピンク、青など花色も豊富で秋の庭を彩るのに欠かせない花になっています。（いとう）

もみじ今昔（1）

春の桜前線とは反対に北から南へ、高地から低地へ向かうのが紅葉前線で、10月中旬頃になると各地から紅葉するカエデ類のたよりが届くようになります。道内ではその代表格が地元産のヤマモミジと本州産のイロハモミジではないでしょうか。また、庭の主木として重宝されるハウチワカエデが、赤、橙、黄、緑の葉が混在するときは他に例えようのない様に感動します。世界の自生種で 120 種程あるカエデ属のなかで、園芸品種を含めたこれらは、世界レベルで珍重され、ガーデニングの本場とされるイギリスなどにはかなり輸出されたそうです。葉には切れ込みがあり、そうでないカラコギカエデ、本州産のメグスリノキ、北米のルブラカエデの紅葉も捨てがたいですね。ところで、紅葉は個体差があり、その年の気候によっても鮮やかさが異なることがあります。また日当たり良く、少し干ばつ気味のときのほうが鮮やかな色になるようです。花見や紅葉狩りを楽しむ場所には、弁当を持ち込み、お酒を楽しむために、待ちわびた人々が押し寄せます。早く新型コロナが去り、賑やかで風情を楽しめる世の中になることを願っています。（かわはら）

今月の便り



*「今月の便り」 次ページへつづく ⇒

球根を植えよう

球根ってどんなもの？球根は丸いばかりではなく、いろいろな形があります。手間がかからない球根を植えるなら庭でも気楽に楽しめます。みんな大好きチューリップ！香りで人気のヒヤシンス！春一番を告げる水仙！珍しさで目を引く小球根！市民園芸講座でも10月には球根とビオラ、パンジーなどの寄せ植え講座を開催しています。ワンランクアップを目指して、花束植えや花苗などとの重ね植えの1鉢で来春1番の寄せ植えを作りましょう。球根栽培のポイントアドバイスは、植え付ける深さは臨機応変に品種により変えましょう。コンテナ栽は水切れ加湿に気をつけましょう。水仙等は群植や草丈の高低を組み合わせて、ゴージャスな八重咲きから愛らしいミニタイプまで種類豊富です。手軽に楽しめる芽出し球根を、利用するのも良いことだと思います。北海道では10月に植え付けて、冬の寒さに当てることで花芽が育ち早春まで地上に姿が見えませんが、

トウモロコシ

トウモロコシの種類は、大きく分けて6種類あります。私たちが普段ゆでて食べる甘いトウモロコシは「スイートコーン」と呼ばれるタイプですが、ほかには、乾燥させた粒を熱し弾けさせて食べる「ポップコーン」、主に家畜の飼料などに利用する「デントコーン」、穀物として利用する「フラワーコーン」、デンプンが多くモチモチした食感の「ワキシーコーン」、硬粒種とも呼ばれ、主に加工用に利用される「フリントコーン」、粉に挽いて利用する「ソフトコーン」があります。現在出回っているトウモロコシは、ほとんどがスイートコーンですが、昭和30年代ごろまでは「もちきび」「もちとうもろこし」と呼ばれるワキシーコーンや、「甲州とうもろこし」「八列とうもろこし」などのフリントコーンが多く栽培されていました。甘みはあまりないものの、独特の食感や力強い穀物の風味が楽しめる昔ながらの在来トウモロコシには、今もファンがいて、少量ですが全国各地で栽培されています。現在主流のスイートコーンは、粒の色によってさらに3タイプに分けられています。すべての粒が濃い黄色の「ゴールデンコーン（黄粒種）」、粒が白く皮がやわらかい「シルバーコーン（白粒種）」、黄色と白の2色が混ざった「バイカラーコーン」があり、どれも甘みを売りにした品種が続々登場しています。（ながやす）

「玉蜀黍」この食べ物わかりますか？

お米、麦とともに世界三大穀物「玉蜀黍」
日本の夏の風物詩、焼いてよしのトウモロコシ!!
トウモロコシを漢字で書くと「玉蜀黍」と書きます。
中国の「モロコシ」と言う植物によく似ていたことから「唐（舶来品と言う意味）のモロコシ」、トウモロコシと言うようになったようです。
トウモロコシは、コロンブスが欧州に伝え、ポルトガル人宣教師が安土桃山時代に日本に持ち込まれたようです。
昔はポルトガル人のことを「南蛮人」と言ったことから、別名「南蛮黍（なんばんきび）」と言っていたようです。

地方によって呼び名が変わる（・・・）

とうきび ・ ・ ・ ・ ・ 北海道・東北・中部地方・四国など
なんばん・なんば ・ ・ ・ ・ ・ 近畿地方・愛知・岡山・山口など
とうみぎ・とうむぎ ・ ・ ・ ・ ・ 宮城・福島・茨木・栃木など



ひとつき ひとバラ



文：曾根 浩太
(いわみざわ公園バラ園)



第九十六回

フロリバンダローズ

エスカペイド

Escapade

作出国：イギリス

作出者：Jack L. Harkness

作出年：1962年

ハーディネスゾーン：Z5

繰り返し咲き

交配：Pink Parfait × Baby Faurax

秋バラが見頃の時期となってまいりました。秋の花は昼夜の寒暖差によって熟成され、ぐっと魅力が深まります。秋の花を見ると、また来年も頑張ろうという気持ちになれますね。

今回は当園のウェルカム入って縦の通りに植栽されている Escapade を紹介いたします。

Escapade は花弁の外側がピンクで中心は白色の花で、花弁の外から内にかけてややグラデーションぼく色に変化しています。早咲きの品種で、咲き方は中輪房咲きの半八重咲きになります。中心が白いことで黄色いしべが引き立っており、花も多く咲くので普通に歩いても目がいてしまう素晴らしいバラです。名前の由来は英語で「いたずら」という意味になります。中々面白い名前ですね。

樹高は 120 cm、幅 105 cm 程度に育つ品種で、フロリバンダの中でも平均的な大きさかなと思います。耐寒性に優れており、多少凍害はあるものの一番花にはたくさんの花を見せてくれます。耐病性に関しては、黒点病に弱く葉を落としてしましますが、秋にはあまり気にならないくらい回復します。剪定に関しては、フロリバンダですので割りばし程度の太さの箇所です。

節間が長い特徴があるので、剪定した際に低くなってしまいかもかもしれませんがまた伸びるので安心してください。

交雑の Pink Parfait は大輪から中輪房咲きの八重咲きで当園にも整形形式に植栽している品種です。Baby Faurax は当園にはありませんが、小輪の八重咲きの品種になります。の花の大きさは二つの中間といった感じですかね。また、花の形は Baby Faurax から、色味は Pink Parfait から引き継がれた雰囲気があります。

作出はハークネス社で本格的に育種を始めた Jack L. Harkness。彼が作出した品種の中でも Escapade はかなり人気がある品種だったそうです。他に Amber Queen や Yesterday なんかは今でも流通している品種かと思います。

現在はパテントも切れていることから、挿し木でも増やすことが可能な品種です。ただし、節間が長く必要な芽の数を付けた枝がとりにくいことや、自根が中々でにくく、自根苗の成長速度も穏やかなので、挿し木で増やすのは難しい品種になります。Escapade をお持ちで、興味がある方はチャレンジしてみるといいかと思います。

今月の市民園芸講座のご案内

これは面白い！



- 10月9日(日) 13:00~ バラ管理スタッフのローズツアー・秋
料金：無料 定員：18名 講師：バラ園スタッフ
 - 10月10日(月祝) 13:00~15:00 早春を彩る球根を植えよう
材料費：2,000円~(容器代別途) 定員：10名
講師：高橋 かつえさん フラワーマスター
 - 10月22日(土) 10:00~12:00 ばらゼミ⑦ 冬囲いろいろ。
料金：無料 定員：18名 講師：古舘 杏奈さん ローズグローワー
- ~11月1日 9:00から受付開始~
- 11月13日(日) 13:00~15:00 多肉植物の寄せ植えをしよう
材料費：2,000円 定員：18名
講師：椿 豊さん Green Art 百々屋
 - 11月26日(土) 13:00~15:00・27日(日) 10:00~12:00
ローズヒップでクリスマスリースをつくろう
材料費：1,000円 定員：各日10名 講師：バラ園スタッフ

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。

電話：0126-25-6111 ホームページ：<http://www.iwamizawa-park.com/>

※材料費のかかる講座は、講師の方の準備等の都合上、開催日3~4日前までにお申込みをお願いいたします。

新型コロナウイルス感染防止策として、以下の点についてご了承ください。

× マスクの着用がない方 × 37.0℃以上の熱がある方

上記に該当する方は受講をご遠慮いただいております。

- ・連絡なしの欠席・遅刻はお申込みをしたい方のご迷惑となりますので、ご遠慮ください。事前申し込み無しに当日に飛び入り参加される方は、定員制限などの関係から受講をお断りさせていただく場合がございます。
- ・密集を避ける為、各講座の定員につきましては予告なく変更する場合がございます。
- ・換気の為、窓・扉を開放いたします。暖かい格好でお越しください。
- ・密接を避けるため、講座中の私語は謹んでいただきますようお願いいたします。